

基本目的 4 多くの人が働ける場が増える

行動目標 4-2 農水産業が活性化する

(所管課名 商工農水部農水事業課)

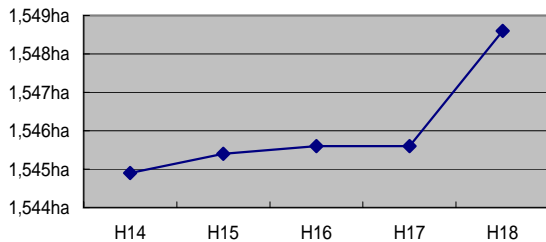
任務 農水産業の生産基盤を整備する

任務の成果・活動指標の推移

基盤整備済面積

H14実績	1,544.9ha
H15実績	1,545.4ha
H16実績	1,545.6ha
H17実績	1,545.6ha
H18目標	1,548.6ha

基盤整備済面積



指標の説明

昭和40年以降に実施した土地改良事業によるほ場整備済面積を農地の整備状況の成果を表す指標として採用している。

任務に対する評価

これまでの取組と成果、手段の妥当性

平成16～17年度

生産性の向上と効率的な生産基盤の確立を図るため、札幌地区において基盤整備促進事業を実施した。また、農業再生事業の一環として、朝明町地内において国補事業の面積要件に満たない小規模な基盤整備を市単独土地改良事業で実施した。

漁港施設整備を実施し漁港の機能強化と安全性を確保するとともに漁港海岸を整備することにより後背地を防護して民生の安定を図るべく整備事業を実施した。

平成18年度

新たに市場地区において、ほ場整備事業を実施する。整地工および道水路工に着手する。

海岸保全整備事業として、磯津海岸堤防の地盤改良工事(L=40m)を実施する。また、磯津漁港南防波堤の堤体・上部工(L=10m)を地域水産物供給基盤整備事業として実施する。

これからの課題、施策等展開の方向性

農業再生事業の一環として、補助事業の対象にならない小規模な基盤整備を行うことにより水田区画の大型化を図り、作業の効率化、省力化を図り農業の担い手育成に寄与する市単独土地改良事業を推進する。

磯津漁港施設(南防波堤)整備を行い、水産物の安定供給を図ると共に、漁港海岸の整備により後背地を自然災害等から守る。